



社協だより

編集 / 発行 社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会
〒795-0064 大洲市東大洲 270-1

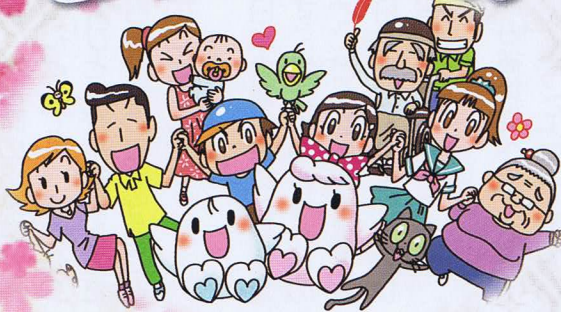
TEL 0893-23-0313
FAX 0893-23-0295

ホームページ <http://www.ozushakyo.jp>
大洲市社協 検索



共同募金 実績報告

あたたかいご協力
ありがとうございました！
ございました！



共同募金実績額

9,751,875円

平成 30 年度

共同募金種別実績表

(単位：円)

地区名	戸別募金 募金額	法人募金 募金額	学校募金 募金額	街頭募金 募金額	職域募金 募金額	イベント募金 募金額	その他の募金 募金額	募金額合計 募金額
肱南	435,280	164,500	0	0	0	0	85,000	684,780
久米	293,860	3,000	0	0	0	0	0	296,860
肱北	264,410	76,000	0	0	0	0	324,300	664,710
喜多	594,727	16,743	0	0	0	0	0	611,470
平	341,700	4,500	0	0	0	0	24,000	370,200
平野	276,350	138,000	10,836	0	0	0	73,000	498,186
南久米	186,000	41,000	0	0	0	0	126,000	353,000
菅田	488,500	346,570	8,798	0	0	0	58,000	901,868
大川	135,000	10,000	0	0	0	0	117,000	262,000
柳沢	171,000	0	0	0	0	0	0	171,000
新谷	560,400	89,000	11,067	21,887	0	123,920	104,000	910,274
三善	139,880	14,466	1,440	0	0	0	41,000	196,786
八多喜	263,100	51,000	8,817	0	0	0	280,000	602,917
上須戒	82,500	18,000	0	0	0	0	51,000	151,500
長浜	980,550	292,000	13,542	16,269	80,222	2,240	522,373	1,907,196
肱川	335,637	0	10,075	1,732	84,019	0	1	431,464
河辺	139,500	92,000	0	0	57,000	22,899	1	311,400
事務局	0	23,504	63,975	23,833	255,354	20,750	38,848	426,264
計	5,688,394	1,380,283	128,550	63,721	476,595	169,809	1,844,523	9,751,875

平成 30 年度実績内容については、「社協だより特集号」で詳しく掲載いたします。

平成30年度 ふれあい・いきいきサロン お世話人交流会

平成31年2月27日(水)、大洲市総合福祉センターにおいて、「ふれあい・いきいきサロン お世話人交流会」が開催され、約150名にご参加頂きました。

今年度は、宮城県石巻市出身OP EN JAPAN緊急支援プロジェクト重機及び災害支援語り部、萬代好伸氏を講師としてお迎えしました。「災害からの教訓と今後の災害支援のあり方」をテーマとして、石巻市で被災し絶望の淵に立たされた経験を通じて得た教訓や、人こそが人を支援できるというところについて講演をいただきました。

講演の冒頭で、平成23年3月11日の東日本大震災のDVDを観た後、萬代氏が体験した出来事と感じたことをお話いただきました。



東日本大震災から学んだ教訓とし

て、萬代氏は次の3つの教訓を挙げられました。

- ①認識・知識・意識といふ3つの「識」をつかって災害に対応すること
- ②助け合うこと・支え合うこと・励まし合うこと
- ③伝えること

次の災害も必ずくるという認識をしつかりと持つこと。その災害からどう逃れるのかという知識を得ること。そして、今災害が起こったらどうするのか、常に災害を意識して過ごすことが大切だとお話がありました。年月が経ち、災害時の出来事が風化してしまったとしても、この3つの「識」を一人ひとりが持ち続けてさえいれば、自分たちの身を守ることができるこのことでした。

また、東日本大震災時には日本全国のみならず、世界中の方々からの支えによって、どん底に突き落とされた方々が日ごとに立ち上がっていく姿を目の当たりにしたそうです。

「被災地から被災地へ伝える心」。人こそが人を救うことができる。いかなる災害にも、助け合い支え合い励まし合うことが大切であると、萬代



氏自身は自身の経験から学んだことでした。講師 萬代好伸氏

苦しみを被災地の人たちは持っているのではないかという関心を持ち続け、次の災害にどう生かしていくか、一被災者として考えること。次の災害被災地へ、ぜひ大洲の人々の心を伝えてほしいとおっしゃっていました。

そして、自分が見聞きしたものを周りの人たちに伝え、さらに周りの人々にも伝えてもらうように促していくことが必要だというお話もありました。災害時の体験談を相手に伝えるということは、災害を知らない人たちが災害を知り得る機会になります。助かった命は次の命を救う役目があることを知ってほしい。決して命が命を奪ってはいけないということ伝えてほしい。次の災害に遭遇する確率の高い未来の子どもたちと同じ悲劇を繰り返さないよう、伝えていくことが自分たちの役目であると教えていただきました。

基調講演の後には12のグループに分かれ、グループごとにサロン情報

交換会を行いました。

「サロンで困っていること」の一例として、サロン参加者が高齢であるため、役員交代や外出行事が難しいという意見がありました。なかでも、登録者全員を3人1組に分け、サロンの参加確認や安否確認も含めて、自助・共助の活動に日頃から取り組んでいるサロンもありました。高齢化や認知症等、どの地区にも共通課題があります。が、「お世話人の方が頑張りすぎない工夫。自分を褒めて。出来ることは皆で協力してもらい、肩の荷を下ろすこと。サロンを一緒に楽しもう」と等と、各グループでの情報交換を大変喜ばれました。その後、全体発表としてサロン活動の特徴を発表して頂きました。



今回の交流会では、日頃の悩みを話し合い、サロン同士の繋がりを持つ貴重な機会となりました。

まごころのおくりもの 1月分

金銭の部 (一般分)

育徳園保育所 様	大阪市
日々旬味旬菜 山本様	松山市

(指定分)

《大川保健福祉協議会へ》

高岡 千恵美 様	宇和川
----------	-----

《三善地区社協へ》

橋本 英司 様	春 賀
栗坂 和子 様	双海町

《肱川地区社協へ》

上田 武治 様	肱川町
---------	-----

《河辺地区社協へ》

二宮 千鶴子 様	河辺町
----------	-----

物品の部

《大洲市社会福祉協議会へ》

佐野 満寛 様	手 成
タオル60枚、下着類 一式	

《大洲市内仮設住宅へ》

村上 喜美子 様	若 宮
ティッシュカバー 30枚	

※黄色塗の箇所は、平成30年7月
豪雨義援金・復興支援として

あたたかい善意をありがとうございました。
感謝をこめて掲載させていただきます。



台は、今後大切に使用させていただきます。ありがとうございます。ありがとうございました。



平成31年2月4日(月)、「小さな親切」運動愛媛県本部より、車椅子6台と入浴台2台を寄贈していただきました。

「小さな親切」運動 車椅子・浴槽台贈呈

市内4小学校 盲導犬教室を開催

1月22日(火)・24日(木)、視覚障がい者や盲導犬への理解を深める目的で、市内小学校において、日本盲導犬協会島根あさひ訓練センターの佐々木重紀さんと辻芽衣子さん、盲導犬PR犬のシャンティとロッシィをお招きし、盲導犬学校キャラバンを行いました。

日本は、視覚に障がいのある方が、約33万人(障がい者手帳)。盲導犬は全国で941頭、愛媛県では11頭とまだまだ少ないということ。育成には、寄付がとても重要であるということもわかりました。

また、視覚に障がいがあってもいろいろな方法でみんなと同じように生活をされていること。まずは、1人でも多くの視覚障がい者が当たり前に安心して外出できるように盲導犬の役割を知ってほしいし、盲導犬ができないことをサポートしてほしいとお

話がありました。
また、視覚障がい者にとって盲導

犬は体の一部であり、飛行機や電車、タクシーなどの乗り物に乗っても、デパートや飲食店でも断られることのないやさしいまちになってほしいと言われていました。

児童から、質問も出ており「災害が起きた時は避難所まで一緒に行けるの?」「なぜ英語で指示するの?」「訓練はどんなことをするの?」「名前は何だれが決めるの?」「何歳で引退するの?」と興味津々な様子でした。

学校キャラバンを通して「お手伝いできることはありますか。」と視覚障がい者や盲導犬ユーザーに声をかけられることが大切であり、その一声が視覚に障がいのある方にとっては生きる勇気につながるということを学んでいました。

これから、生きていく中でこの経験をふと思い出してくれることを願っています。



平小学校
→
体験歩行の様子。盲導犬は、障害物や段差、曲がり角の前で止まって知らせしてくれます。←一緒に給食。



喜多小学校
→
一緒に給食。シャンティもロッシィも全く動じません。



大洲小学校
→
ハーネスをはずしてリラックスタイム。みんな興味津々です。



平野小学校
→
視覚障がいの見え方を実際に体験しています。見え方は人それぞれ違います。



フードドライブによる食料品等の寄贈を受けました

全国展開をされている女性専用フィットネスクラブ、カーブス、八幡浜・大洲店の会員さんらがチャリティ（フードドライブ）で募ったインスタントラーメンや缶詰などの食料品など383点を本会に寄付していただきました。

カーブスでは、毎年、社会貢献活動の取り組みとして、会員さんに呼びかけてご家庭で消費しきれない長期保存が可能な食料品などを集められ、各地の福祉施設などに寄贈される取り組みなどが行われています。



本会では、何らかの理由で生活に困られている方や、この度の豪雨災害によって生活に困られている方々の相談等に対応させていただいています。今回、頂いた食料品などを今後、食べるものに困られている方への支援、地域福祉活動の推進に活用させていただきます。

また、食料品等を寄付したいと思われる方は、当センターまでお問合せください。

☎23-0313 【担当：黒江】

俳句ひろば

元氣をもらふ赤く燃ゆ冬紅葉

坂辺 イスミ

評 冬の日に映える紅葉、その燃えるような赤に元気で過ごそうと思ひ新たな作者です。

なつかしき物綿入れも袖無も

中村 万里子

評 確かに綿入れも袖無もなつかしいものです。特に老人、子どもは冬季によく着たものです。

お正月百歳に後十日なり

鶴岡 エリ子

評 お正月に百歳となられる鶴岡さん。そして句を詠まれる。素晴らしいです。

※以上3句は、龍星俳句クラブよりいただきました

吹き荒ぶ風にあふられ椿落つ

森本 正男

評 椿は水仙と共に二月の花とされていきます。荒き風にあおられて落ちた椿へ思ひを寄せる作者です。

水仙を束ねて深く抱きけり

田中 遙子

評 早春酷寒の候に咲く、水仙への思ひの深さが伝わってきます。

香にたらて七種粥の炊き上がる

佐野 満寛

評 正月七日に、芹薺五形、藜雲の若菜を入れて炊く粥。よき香りだつたでしょう。

労られ頼られながら老の春

佐野 幸子

評 老後の春、お互いいたわられたり頼られたり。

曇りがらなれど買初妹と

松本 朋子

評 女は買ひ物が好きです。それも姉妹一緒なれば空は曇っています。

お問い合わせは



大洲市社会福祉協議会

地域福祉係

☎23-0313

☎23-0295

心配ごと相談所案内

大洲市社会福祉協議会 (本所)	【一般相談】 毎週月・水曜日 【介護相談】 毎週金曜日 【弁護士法律相談※要電話予約】 毎月第1・3火曜日 (4月2日と4月16日) 【司法書士等法律相談】 毎月第2・4・5火曜日および毎週木曜日 大洲市総合福祉センター 午前10時～午後4時 (弁護士法律相談は正午まで) ※祝日を除く
長 浜 支 所	4月26日 (金) 大洲市長浜体育館 午後1時～午後4時
肱 川 支 所	4月 5日 (金) 大洲市肱川公民館 午後1時30分～午後4時30分
河 辺 支 所	4月10日 (水) 大洲市河辺老人福祉センター 午前9時～正午
問い合わせ先	本所 TEL23-0313 (代表、弁護士相談予約) TEL23-5629 (相談室直通) 長浜支所 TEL52-1194 肱川支所 TEL34-2312 河辺支所 TEL39-2510